

2022 年度光学論文賞受賞候補者の募集

一般社団法人日本光学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記の通り光学論文賞を贈っています。光学論文賞は1960年に創設され、光学奨励賞とともに日本光学会の活動を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰年度（2022年）の4月1日において満40歳以下の日本光学会会員であり、2021年1月から2021年12月までに発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第1著者。詳細は光学論文賞規程をご覧ください（光学論文賞規定 <http://myosj.or.jp/about/provisions/thesis/>）。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢（公募締切日における）、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、電子メールアドレス、候補論文（1編）および関連論文名のリスト、推薦理由（自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点などを1,000字以内でわかりやすく記す）、候補論文1部、関連論文2編以内で各1部。他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先、電子メールアドレス。書類はE-mailでご応募ください。PDF形式ファイルまたはMicrosoft Word書式ファイルにて、すべてメールに添付してご送付いただいて結構です。メールのサイズが大きくなる場合には、2MBを目安に適宜分割してください。なお、E-mailでのご送付が困難な場合に限り、郵送でも受け付けます。その際、提出書類を保存したCD-ROMを同封してください。

書類提出期限：2022年6月30日（木）必着

提出先：一般社団法人日本光学会 事務局

〒173-0004 東京都板橋区板橋2-65-6 板橋区情報処理センター5階

電話 03-6905-6406 Fax 03-6905-6416

E-mail osj_ronbun@myosj.or.jp

OPTICS & PHOTONICS International Exhibition'22 (OPIE'22)

レーザー EXPO、赤外・紫外応用技術展、宇宙・天文光学 EXPO、レンズ設計・製造展、産業用カメラ展、ポジショニング EXPO の6つの展示会で構成される日本最大級の光関連専門展示会。セミナー企画も充実。協賛団体会員

のセミナー受講料は割引となります。

期 日：2022年4月20日（水）～22日（金）

場 所：パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

統括主催：OPTICS & PHOTONICS International 協議会

協 賛：日本光学会、レーザー学会、応用物理学会ほか

問合せ先：オプトロニクス社 事務局 柏木克哉

電話 03-3269-3550 Fax 03-3269-2551

E-mail event@optronics.co.jp

URL <https://www.opie.jp/>

第422回精密工学会「生体機能を工学する！バイオミメティクス」

バイオミメティクスは、生体機能の模倣により新たな高付加価値を創造する科学技術です。本講演会ではバイオミメティクスの先端技術や応用事例をご紹介します。参加の皆様が抱える技術的課題を解決するヒントとなれば幸いです。

期 日：2022年5月17日（火）～6月3日（金）

場 所：オンライン開催

主 催：精密工学会

協 賛：日本光学会、応用物理学会ほか

参加費：一般22,000円、協賛学生会員2,000円

詳 細：<https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/422.pdf>

参加申込：下記URLからお申込みください。

https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html

申込期限：2022年5月26日（木）

問合せ先：精密工学会講習会係

E-mail jspe_koushu@jspe.or.jp

URL <https://www.jspe.or.jp/>

JOEM「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」技術講座

日 時：2022年5月17日（火）10:00～16:00

場 所：機械振興会館別館4階（対面+オンラインのハイブリッド形式、オンラインはMicrosoft Teams 使用）

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会

参加費：協賛44,880円（テキスト・消費税含む）

定員：25名（うち対面は10名）
申込期限：2022年5月9日（月）
問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp URL http://www.joem.or.jp

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第50巻第2号（2022年2月号）目次

「ポストコロナ時代の医療へのレーザー技術展開」特集号

レーザーコンパス

企業における基礎研究……………小栗克弥（65）

《特集》

レーザー解説

「ポストコロナ時代の医療へのレーザー技術展開」特集号によせて……………山岡禎久（66）
新規的な技術を用いた二光子顕微鏡による生体イメージングの展開……………根本知己，大友康平，山口和志，高橋泰伽（68）
音波が操る生体試料中の光伝播……………石島 歩，Stefan WUNDERL，宋 航，中川桂一（72）
ラマン分光法の医学への展開……………南川丈夫（77）
集光レーザービームの光圧による神経細胞内分子操作と活動制御……………細川千絵（82）

分子標的プローブを用いた生体光イメージングと光治療

……………小川美香子（87）

近赤外レーザー光を用いたワクチン増強効果の研究

……………君塚善文（92）

レーザーフラッシュ

研究室紹介

三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻高周波フォト

ニクス研究室……………（97）

著者紹介

……………（98）

セルフフォーカス

……………（100）

レーザーカレンダー

……………（107）

「応用物理」第91巻第4号（2022年4月号）予定目次

巻頭言

会長就任にあたって……………平本俊郎

総合報告

光ファイバ：半世紀の進化と最新動向……………金森弘雄

最近の展望

ペロブスカイト太陽電池の実用化に向けたアルカリ金属元素添加の効果の解明……………松井太佑

研究紹介

車載 LiDAR 向け SPAD ToF 方式距離センサ

……………田代睦聡，伊東恭佑

機械学習による高速成膜プロセス開発とエネルギー薄膜探索

……………大久保勇男，後藤真宏

基礎講座

電子デバイスの電氣的雑音測定とその環境構築……………大毛利健治

応物系スタートアップ

協働を生み出すプラットフォームをつくる

……………南部陽介，三浦政司，山舗智也

Inside Out

チュウリッヒでの研究生活……………堀尾真史

書評

図説 表面分析ハンドブック……………黄 晋二

Science As Art

かごめかごめ……………各務 響

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2022年3月1日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	チームオプト株式会社
ウシオ電機株式会社	中央精機株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東芝
株式会社エクモス	株式会社東精エンジニアリング
オプトシリウス株式会社	株式会社トプコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オリンパス株式会社	株式会社ニコン
キヤノン株式会社	株式会社ニデック
京セラ SOC 株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
株式会社清原光学	日本シノプシス合同会社
株式会社光学技研	パナソニック株式会社
興和株式会社	浜松ホトニクス株式会社
株式会社五藤光学研究所	株式会社日立製作所
コニカミノルタ株式会社	華為技術日本株式会社
株式会社三恵舎	Phase One Japan 株式会社
株式会社シグマ	富士フイルム株式会社
株式会社スカイテクノロジー	古野電気株式会社
Zemax Japan 株式会社	株式会社溝尻光学工業所
ソーラボジャパン株式会社	三菱ケミカル株式会社
株式会社タムロン	株式会社リコー

以上 会員数 40 社, 55 口 (五十音順)

一般社団法人日本光学会 創立 70 周年に伴うご寄付のお願い

一般社団法人日本光学会
会長 山口 進

会員の皆様におかれましては、平素より本会の活動に多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本会は、1952年4月1日に応用物理学会内に創立された光学懇話会を前身として発足、応用物理学会分科会日本光学会時代を経て、2014年9月に一般社団法人日本光学会として活動を発展し、2022年に創立70周年を迎えます。光学に関する学術・技術の進歩発展と教育、光学関連産業の振興をめざす研究者、技術者、学生のための学術団体として、これまで会誌「光学」、英文学術誌「Optical Review」の発行、学術講演会、講習会の開催、各種表彰活動、国際交流活動、研究グループ活動などを推進してまいりました。

ここに、創立70周年を迎えるにあたり、本会の礎を築いてくださった先達の努力に感謝しつつこれまでの歴史を振り返るとともに、本会を未来につないでいく意思と行動の共有を目的として、「光学」特集号やOPJ 2022における記念行事の原資とさせていただきます。会員の皆様のご厚情を賜りたいと存じます。

何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【ご寄付一口額】3,000円（寄付は1口から、何口でもお申し受けいたします。）

【お申込み】下記URLからお申込みをお願いいたします。

<https://mypage.myosj.or.jp/don70th>

（恐縮ですが、クレジット決済のみの対応となります。）

【ご注意】

- ・本会は一般社団法人のため、個人の方からの寄付金は寄付金控除の対象外です。
- ・法人としてご寄付いただく場合は寄付金控除の対象となります。

賛助会員様におかれましては、別途ご連絡しております通り、会費と合わせてのお振込みにてお申し受けいたします。それ以外の法人様は、日本光学会事務局（info@myosj.or.jp）までご連絡をお願いいたします。